

O01 口頭発表

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3303教室

対人相互作用 1

座長 平島 太郎

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| O0101 | 9:45 ~ 10:00
ペアが協調できないとき
予測的処理理論による検討 | ○中田 星矢
長井 志江 | 東京大学
東京大学 |
| O0102 | 10:00 ~ 10:15
家庭の経済状況と思春期世代の子どもの一般的信頼の
関連 | ○汪 明琛
山田 順子
石原 暢
田中 大貴
松田 哲也
高岸 治人 | 玉川大学
立正大学
神戸大学
玉川大学
玉川大学
玉川大学 |
| O0103 | 10:15 ~ 10:30
最小相互作用が高齢者の孤独感に及ぼす二面性
地域への帰属感の効果 | ○Nahyun Kim
片桐 恵子 | 神戸大学
神戸大学 |
| O0104 | 10:30 ~ 10:45
最小相互作用を含むパーソナルネットワークと主観的幸
福感との関連
最小相互作用の能動性・受動性に着目した探索的検
討 | ○平島 太郎
五十嵐 祐 | 愛知淑徳大学
名古屋大学 |
| O0105 | 10:45 ~ 11:00
人は他者からの好意を正しく推定「できない」のか？
—Liking Gapの生起過程の解明に向けて— | ○志澤 翔太郎
川上 直秋 | 筑波大学
筑波大学 |

O02 口頭発表

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3308教室

環境・犯罪

座長 杉浦 淳吉

- | | |
|--|---|
| <p>O0201 9:45 ~ 10:00
省エネ行動のアイデア開発の国際比較と経年変化
説得納得ゲームを用いた検討</p> | <p>○杉浦 淳吉 慶應義塾大学
安藤 香織 奈良女子大学
Gundula Hübner Martin-Luther-University Halle-Wittenberg
Kim-Pong Tam 香港科技大学
神原 歩 京都先端科学大学
大沼 進 北海道大学</p> |
| <p>O0202 10:00 ~ 10:15
討議の質指標を用いた市民参加ワークショップの議論
内容の評価
除去土壌の福島県外最終処分を題材とした共通善の
検討</p> | <p>○柴田 侑秀 北海道大学
崔 青林 北海道大学
相馬 ゆめ 北海道大学
辻本 光英 北海道大学
植 穂奈美 北海道大学
木原 なな 北海道大学
高本 真依子 北海道大学
保高 徹生 産業技術総合研究所
大沼 進 北海道大学</p> |
| <p>O0203 10:15 ~ 10:30
政策による期待醸成はEV普及の鶏と卵の問題を解決
するか</p> | <p>○秋山 知也 東京大学
亀田 達也 東京大学</p> |
| <p>O0204 10:30 ~ 10:45
電車内での痴漢に対する第三者による援助行使と予期</p> | <p>○島田 貴仁 科学警察研究所</p> |
| <p>O0205 10:45 ~ 11:00
児童生徒の対人環境と反社会的傾向とのクラスタパ
ターン
—複数のクラスタリング手法による比較検討—</p> | <p>○吉澤 寛之 岐阜大学
松下 光次郎 岐阜大学
吉田 琢哉 岐阜聖徳学園大学
浅野 良輔 久留米大学</p> |

O03 口頭発表

第1日 (8月31日) 9:45 ~ 11:00

3号館3階3310教室

集団・組織

座長 柿本 敏克

- | | | | |
|-------|--|------------------|--------------------------|
| O0301 | 9:45 ~ 10:00
ステレオタイプとしての「日本人集団主義者」説
自己ステレオタイプ化とメタ・ステレオタイプの観点から | ○柿本 敏克
村畑 茄那 | 群馬大学
(一財) 地域活性化センター |
| O0302 | 10:00 ~ 10:15
認知的中心性の高いメンバーは正確な意思決定をする
か?
客観的正解のある多属性型の集団意思決定課題を用
いた検討 | ○竹西 海人
中西 大輔 | 北海道大学
広島修道大学 |
| O0303 | 10:15 ~ 10:30
外集団及び移民に対する攻撃の意思決定メカニズムの
検討
社会選好を考慮したモデルによるパラメータ推定 | ○柏原 宗一郎
清水 裕士 | 関西学院大学・日本学術振興会
関西学院大学 |
| O0304 | 10:30 ~ 10:45
兵役拒否者はなぜ非難されるのか?
集団間紛争場面において紛争に参加しない個人の評
判を低下させる要因の検討 | ○大坪 快 | 東京大学 |
| O0305 | 10:45 ~ 11:00
ニーズの有無がi-dealsの受け入れに影響するか? | ○張 梓源
相馬 敏彦 | 広島大学
広島大学 |

O04 口頭発表

第1日 (8月31日) 14:45 ~ 16:00

3号館3階3303教室

対人相互作用 2

座長 石井 辰典

O0401	14:45 ~ 15:00 運動同期の対人的効果： 石井・渡邊 (2023) の追試	○石井 辰典 渡邊 克巳	日本女子大学 早稲田大学
O0402	15:00 ~ 15:15 大学生はなぜマッチングアプリを利用するのか？ マッチングアプリの利用経験・利用動機と個人特性との 関連について	○鬼頭 美江 山田 順子 石原 英樹 高橋 幸	明治学院大学 立正大学・玉川大学 明治学院大学 石巻専修大学
O0403	15:15 ~ 15:30 マッチングアプリにおける情報探索方略 —仮想プロフィール画面を用いた実験的検討—	○山田 順子 須山 巨基 中分 遥 鬼頭 美江	立正大学・玉川大学 安田女子大学・明治学院大学 北陸先端科学技術大学院大学 明治学院大学
O0404	15:30 ~ 15:45 確率的に稀有な事象に「運命」を感じるのか パートナー選択場面における検討	○中分 遥 山田 順子 須山 巨基 鬼頭 美江	北陸先端科学技術大学院大学 立正大学・玉川大学 安田女子大学・明治学院大学 明治学院大学
O0405	15:45 ~ 16:00 バーチャル・ペットとの相互作用が精神的健康の変化 とオキシトシンの分泌に与える影響	○後藤 日奈子 吉村 麻美 李 述氷 汪 明琛 田中 大貴 下斗米 淳 Frank Krueger 高岸 治人	玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学 玉川大学 専修大学 George Mason University 玉川大学

政治・世論・マスコミュニケーション

座長 渋谷 明子

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| O0501 | 14:45~15:00
議論フレームが共通善への言及に与える影響についての検討
除去土壌福島県外処理問題を題材とした集団討議実験 | ○相馬 ゆめ
植 穂奈美
柴田 侑秀
辻本 光英
崔 青林
中澤 高師
辰巳 智行
有馬 淑子
大沼 進 | 北海道大学・日本学術振興会
北海道大学
北海道大学
北海道大学
北海道大学
東洋大学
豊橋創造大学短期大学部
京都先端科学大学
北海道大学 |
| O0502 | 15:00~15:15
ドラマ・アニメのジェンダー描写の長期的影響
内容分析と縦断調査の統合 | ○渋谷 明子
麻生 奈央子
大坪 寛子
祥雲 暁代
大倉 韻
坂元 章 | 成城大学
お茶の水女子大学
慶應義塾大学
立教大学
東京医科歯科大学
お茶の水女子大学 |
| O0503 | 15:15~15:30
政治知識と政治的有効性感覚の投票参加への影響
—2022年参議院選挙の結果から— | ○長濱 憲 | 東京大学 |
| O0504 | 15:30~15:45
海外に関する知識の現状 | ○安野 智子 | 中央大学 |
| O0505 | 15:45~16:00
都道府県知事の「声」と有権者の評価
COVID-19にかかる緊急事態宣言記者会見の分析 | ○岡田 陽介 | 拓殖大学 |

O06 口頭発表

第1日 (8月31日)

14:45 ~ 16:00

3号館3階3310教室

文化・ライフスタイル

座長 日比野 愛子

- | | |
|--|---|
| <p>O0601 14:45 ~ 15:00
相互協調的幸福感は職場にどのような効果をもたらすか
交差遅延効果モデルによる相互協調的幸福感と主観的健康／チームパフォーマンス評価との関係分析</p> | <p>○渡邊 寧 京都大学
中山 真孝 京都大学
竹村 幸祐 滋賀大学
内田 由紀子 京都大学</p> |
| <p>O0602 15:00 ~ 15:15
関係流動性は社会的望ましさと個人的望ましさを調整しない
上田・山形 (2024) の事前登録済み概念的追試</p> | <p>○上田 皐介 名古屋大学・日本学術振興会
山形 伸二 名古屋大学</p> |
| <p>O0603 15:15 ~ 15:30
自尊感情とセルフ・コンパッションが精神的健康に与える影響
日米における経験サンプリング法を用いた検討</p> | <p>○平野 寛樹 名古屋大学
佐藤 麻綾 名古屋大学
石井 敬子 名古屋大学</p> |
| <p>O0604 15:30 ~ 15:45
都市居住者は地方居住者よりも幸せ
—関係流動性の媒介効果—</p> | <p>○浅野 良輔 久留米大学
佐藤 剛介 久留米大学
一言 英文 関西学院大学
伊藤 健一 University of Lethbridge</p> |
| <p>O0605 15:45 ~ 16:00
培養肉の受容に関する地域別要因の検討</p> | <p>○日比野 愛子 弘前大学
戸崎 航 弘前大学
古橋 麻衣 東京大学
竹内 昌治 東京大学</p> |

O07口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3303教室

研究法・統計

座長 小林 哲郎

- | | | | |
|-------|--|-----------------|------------------------------|
| O0701 | 16:15 ~ 16:30
高齢者との接触経験の質はエイジズムに影響するか
アイテムカウント法による測定とベイズモデリングによる
分析 | ○若井 大成
清水 佑輔 | 東京大学・日本学術振興会
東京大学・日本学術振興会 |
| O0702 | 16:30 ~ 16:45
他者理解のツールとしての Q 方法論を再評価する試み
同好の士シャーロキアン同士は好きなホームズ作品に
ついて語り合えるか | ○増田 匡裕 | 和歌山県立医科大学 |
| O0703 | 16:45 ~ 17:00
オンライン実験における理解度クイズ正答数および完了
率に説明方法の違いが与える影響の検討 | ○水野 景子
三浦 麻子 | 関西学院大学
大阪大学 |
| O0704 | 17:00 ~ 17:15
誤情報や陰謀論への同意における黙従バイアス | ○小林 哲郎
三浦 麻子 | 早稲田大学
大阪大学 |

O08口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3308教室

感情・動機

座長 五十嵐 祐

- | | | | |
|-------|---|--------------------------|-----------------------------|
| O0801 | 16:15 ~ 16:30
協働規範メッセージが防犯への関心に及ぼす影響
高齢者における特殊詐欺啓発に焦点をあてて | ○竹橋 洋毅
豊沢 純子 | 奈良女子大学
大阪教育大学 |
| O0802 | 16:30 ~ 16:45
認知的再評価と表出抑制が生み出すネットワークのダイ
ナミックス
縦断データによる検討 | ○五十嵐 祐
平島 太郎
吉田 琢哉 | 名古屋大学
愛知淑徳大学
岐阜聖徳学園大学 |
| O0803 | 16:45 ~ 17:00
感謝体験者が恩人を守るための第三者犠牲
衝動的な感謝体験者ほど犠牲にしやすいのか | ○山本 晶友 | 早稲田大学 |
| O0804 | 17:00 ~ 17:15
日中比較を通じた「かわいい」の通文化性と文化固有
性の研究 | ○袁 麗娜
杉森 伸吉 | 早稲田大学
東京学芸大学 |

O09 口頭発表

第1日 (8月31日) 16:15 ~ 17:15

3号館3階3310教室

認知・社会的認知

座長 柳沢 邦昭

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| O0901 | 16:15 ~ 16:30
社会的認知構造に孤独感を与える影響
表象類似度解析による検証 | ○柳澤 邦昭
中井 隆介
米谷 充史
八田 紘和
杉浦 仁美
阿部 修士 | 神戸大学
京都大学
神戸大学
神戸大学
近畿大学
京都大学 |
| O0902 | 16:30 ~ 16:45
評価者数と間接互惠行動との関連
—評価懸念に着目した検討— | ○原田 瑞穂
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O0903 | 16:45 ~ 17:00
逸脱の影響度に応じた逸脱者の心的状態に関するベイズ的推論 | ○佐藤 洋大 | 名古屋大学・日本学術振興会 |
| O0904 | 17:00 ~ 17:15
自己調整方略が職場ストレスに与える効果 | ○塚原 拓馬 | 実践女子大学 |

O10口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3303教室

態度・信念

座長 清水 裕士

- | | | |
|-------|---|--|
| O1001 | 9:45 ~ 10:00
生成AIへの依存要因の探究：日本における縦断的研究 | ○スミス アダム 国際基督教大学
長谷川 オリバ 北海道大学
佐野 智咲 国際基督教大学
徐 梓蕾 国際基督教大学 |
| O1002 | 10:00 ~ 10:15
行為の意思決定理論
—信念と欲求を行為から数量化する— | ○清水 裕士 関西学院大学 |
| O1003 | 10:15 ~ 10:30
「持続可能性」の概念と道徳基盤
持続可能な開発目標 (SDGs) に対する潜在的態度の検討 | ○杉谷 陽子 上智大学
唐沢 穰 名古屋大学 |
| O1004 | 10:30 ~ 10:45
感情を揺さぶる物語は態度変容と社会的共有を促すのか？ | ○河口 陽菜 東京学芸大学
品田 瑞穂 東京学芸大学 |

O11口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3308教室

社会的ジレンマ

座長 神 信人

- | | | | |
|-------|--|---|---|
| O1101 | 9:45 ~ 10:00
後続世代数と世代を超えた協力行動の関係：
探索的調査報告 | ○三木 毬菜
清水 裕士 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O1102 | 10:00 ~ 10:15
未来志向メッセージが献血意図に及ぼす影響 | ○小林 右京
山本 佳祐
前田 楓
佐藤 剛介
橋本 博文 | 大阪公立大学
京都文教大学
立教大学
久留米大学
大阪公立大学 |
| O1103 | 10:15 ~ 10:30
リアルタイム下の協働における能動と応報
囚人のジレンマゲーム実験を用いた検討 | ○森 隆太郎
花木 伸行
亀田 達也 | 東京大学・日本学術振興会
大阪大学
明治学院大学 |
| O1104 | 10:30 ~ 10:45
社会的ジレンマにおける罰行動の至近因
強い互恵性 vs. ドミナンス欲求 | ○神 信人
松本 良恵 | 淑徳大学
淑徳大学 |

O12口頭発表

第2日 (9月1日) 9:45 ~ 10:45

3号館3階3310教室

社会問題

座長 池内 裕美

- | | | | |
|-------|---|-----------------|------------------|
| O1201 | 9:45 ~ 10:00
感染症対策のマスク着用行動の習慣化がもたらす逆効果 | ○大友 章司
木村 玲欧 | 関東学院大学
兵庫県立大学 |
| O1202 | 10:00 ~ 10:15
上位階層者は自身の特権情報に対して自己防衛的反応を示すのか | ○柿本 航哉
北村 英哉 | 東洋大学
東洋大学 |
| O1203 | 10:15 ~ 10:30
カスタマーハラスメントの行為者特性に関する国際比較
日本・米国・ニュージーランドの比較調査結果より | ○池内 裕美
秋山 隆 | 関西大学
関西大学 |
| O1204 | 10:30 ~ 10:45
詐欺抵抗力診断アプリの評価と改善
汎化性能と特微量(質問)選択 | ○小久保 温 | 八戸工業大学 |

O13口頭発表

第2日 (9月1日) 11:00 ~ 12:00

3号館3階3303教室

偏見・ステレオタイプ

座長 前田 楓

- | | | | |
|-------|---|------------------------------------|---|
| O1301 | 11:00 ~ 11:15
被害者非難の抑制における低減方略
—代替思考に注目して— | ○王 詩頤
北村 英哉 | 東洋大学
東洋大学 |
| O1302 | 11:15 ~ 11:30
女性に対する慈愛的偏見の軽減
Becker & Swim (2012) の追試 | ○清水 佑輔
講元 幸祈
馬目 蓉子
唐沢 かおり | 東京大学・日本学術振興会
元東京大学
東京大学
東京大学 |
| O1303 | 11:30 ~ 11:45
「若いから」「高齢だから」生じる年齢差別：
性別・年齢による差と心身への影響 | ○竹内 真純
福沢 愛
小林 江里香
片桐 恵子 | 東京都健康長寿医療センター研究所
武蔵野大学
東京都健康長寿医療センター研究所
神戸大学 |
| O1304 | 11:45 ~ 12:00
学歴偏重主義は日本においても容認されているか？
能力主義に基づく責任帰属バイアスと大卒・非大卒者
に対する印象評価の関連 | ○前田 楓
橋本 博文 | 立教大学
大阪公立大学 |

O14口頭発表

第2日 (9月1日) 11:00 ~ 12:00

3号館3階3308教室

集団

座長 高木 英至

- | | | |
|-------|--|--|
| O1401 | 11:00 ~ 11:15
強化学習による規範内面化のメカニズム：
2つの計算論モデルによる検討 | ○笹川 陽奈子 北海道大学
竹澤 正哲 北海道大学 |
| O1402 | 11:15 ~ 11:30
インセンティブ下でも多数派同調バイアスは示されるのか？ | ○藤川 真子 広島修道大学
横田 晋大 広島修道大学
中西 大輔 広島修道大学 |
| O1403 | 11:30 ~ 11:45
多数派同調バイアスは協力均衡を導くか？ | ○棗田 みな美 広島修道大学
横田 晋大 広島修道大学
中西 大輔 広島修道大学 |
| O1404 | 11:45 ~ 12:00
社会的影響モデルの予測はエージェントの初期配置に依存する | ○高木 英至 埼玉大学 |

パーソナリティ

座長 福島 治

- | | | | |
|-------|---|--------------------|--------------------------------|
| O1501 | 11:00 ~ 11:15
社会的受容感と拒絶感に伴う自尊心の変動に対する愛着次元の効果 | ○福島 治 | 新潟大学 |
| O1502 | 11:15 ~ 11:30
個人と集団のアンマッチから生じた疎外感が受容できるか? | ○Mujun Qin
橋本 敬 | 北陸先端科学技術大学院大学
北陸先端科学技術大学院大学 |
| O1503 | 11:30 ~ 11:45
Precrastination 尺度作成の試み | ○安達 未来 | 大阪電気通信大学 |

O16口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:15

3号館3階3303教室

社会的交換

座長 井上 裕香子

- | | | | |
|-------|--|---|--------------------------------------|
| O1601 | 13:00 ~ 13:15
条件付き協力戦略はギビングゲームで協力してもらえるのか?
メンバーとの将来の相互作用可能性を操作した検討 | ○井上 裕香子
清成 透子 | 安田女子大学
青山学院大学 |
| O1602 | 13:15 ~ 13:30
「先んじて協力を示す」ことの有効性とためらい | ○永延 佳那子
前田 楓
谷田 林士
橋本 博文 | 大阪公立大学
立教大学
大正大学
大阪公立大学 |
| O1603 | 13:30 ~ 13:45
なぜ独裁者ゲームで独裁者役となることを忌避するのか
評判管理メカニズムの副産物仮説の検討 | ○新井 さくら | 東京大学・日本学術振興会 |
| O1604 | 13:45 ~ 14:00
思春期における向社会行動の特徴とその心理基盤 | ○田中 大貴
山田 順子
石原 暢
松田 哲也
高岸 治人 | 玉川大学
立正大学
神戸大学
玉川大学
玉川大学 |
| O1605 | 14:00 ~ 14:15
個人が作る紐帯のマクロな帰結
意図せず生まれる評判ネットワークのしがらみ | ○竹村 幸祐
福島 慎太郎
内田 由紀子 | 滋賀大学
東京女子大学
京都大学 |

O17口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:00

3号館3階3308教室

リスク認知

座長 中谷内 一也

- | | | |
|-------|--|---|
| O1701 | 13:00 ~ 13:15
統計情報は事例に基づく評価を修正できるか (1)
緊急地震速報の有効性評価への影響について | ○中谷内 一也 同志社大学
横井 良典 京都橘大学 |
| O1702 | 13:15 ~ 13:30
統計情報は事例に基づく評価を修正できるか (2)
緊急地震速報の有効性評価への影響について | ○横井 良典 京都橘大学
中谷内 一也 同志社大学 |
| O1703 | 13:30 ~ 13:45
福島原発事故による食品放射能汚染と新型コロナのリスク認知比較
14波パネル調査データによる二重システム理論の検討 | ○楠見 孝 京都大学
西川 一二 大阪商業大学
三浦 麻子 大阪大学
小倉 加奈代 岩手県立大学 |
| O1704 | 13:45 ~ 14:00
能登半島地震後の支援行動に関する態度と意思決定 (2)
震災関係者に対する信頼と被災地における行動の不適切さ認知について | ○工藤 大介 東北学院大学
李 楊 名古屋大学 |

O18口頭発表

第2日 (9月1日) 13:00 ~ 14:00

3号館3階3310教室

ライフスタイル・消費者

座長 佐々木 美加

- | | | | |
|-------|--|--------------------------|--|
| O1801 | 13:00 ~ 13:15
新型コロナウイルス感染拡大期と比較した生活の変化
—ICT利用のライフスタイル研究— | ○佐藤 仁
飽戸 弘 | NTTドコモ
東京大学 |
| O1802 | 13:15 ~ 13:30
ライフスタイルと情報行動
—ICT利用のライフスタイル研究— | ○水野 一成
飽戸 弘 | NTTドコモ
東京大学 |
| O1803 | 13:30 ~ 13:45
中高年者における推し活と協調的幸福感の関連性の検
討
—ボランティアおよびチャリティとの比較— | ○大塚 祐多
森田 賢
内田 由紀子 | サントリーウエルネス(株)
サントリーウエルネス(株)
京都大学 |
| O1804 | 13:45 ~ 14:00
英語版金融心理尺度の開発 | ○佐々木 美加
本西 泰三 | 明治大学
関西大学 |